

令和4年度 騰々舎事業報告

新型コロナウイルスは5類になることになり、幾度かの感染症会議を経て面会や外出が緩和傾向になってきました。バスでの外出も行い好評を得ました。ワクチン接種も5回を終え、未だ施設内に罹患者もなく自治会からも職員の私生活での努力に感謝する声も聞かれました。しかし、生活は戻ったわけではなく引き続き行事や食事を楽しんでもらえるようストレスの軽減に努めました。

新舎屋での生活も落ち着きプライベートな時間を過ごせているようです。

職員研修も権利擁護に重きを置き拘束虐待委員や事故対策委員による研修を行いました。

施設設備ではエコエネルギー助成金によりソーラーパネルの設置を申請し、受理されたので来年度設置工事が行われます。

職員関係では精神的な負担を軽減するため、メンター制度を取り入れこまめに相談に乗れるようメンタルケアに何が有効なのか試行錯誤しています。

騰々舎利用者状況

1 入退所状況

延支入居者数（昭和53年4月～令和5年3月31日） 172人

4年度新規入所支援者数 7人（男4人 女3人）

4年度退所者数 7人（男4人 女3人）

4年度平均入居者数（生活介護48,4人 施設入所48,1人）

令和5年3月31日現在 利用者状況

男女人数 男性 30人 女性 19人

障がい支援区分別

平均区分 5.5

平均年齢 男性 63,3歳 女性 59,5歳 平均 63.3歳

平均在所期間 14,9年

2 支援状況

1. 基本支援

施設基本方針である8項目を遵守する。

1. 利用者の自由意志の尊重と自治の創造

騰々舎では利用者の生活が家庭に近いものにしたいという願いから、施設が決めた規則はありません。自己決定の尊重と併せ、利用者の生活を普通の暮らしに近づけます。また、自治は、人間が共同生活を営むための最良の方法です。

2. オムツの随時チェック

利用者の加齢と重度化が進み、おむつ使用者・カテーテル・膀胱路の造設者が増えました。施設では紙おむつを全面使用していますが、不快感を与えないように随時チェック、交換します。

3. 床ずれ（褥瘡）を作らない

「床ずれは介助する側の不注意。施設から床ずれをなくそう」と、施設ぐるみで褥瘡問題に取り組んでいます。1～2時間ごとの体位交換や入浴できない利用者には清拭するなど、清潔の保持、適切な栄養管理を心がけ床ずれゼロを目指します。

4. プライバシーを守る

プライバシーはお世話の中で最も気配りの必要なもののひとつです。利用者52人のうち18人が個室で、34人は4人部屋で生活しています。相部屋では家具やカーテンの間仕切りで遮断された空間を作ります。また、職員が入室時、カーテンを開けるときは必ず声掛けすることを義務としています。

5. 悪臭・異臭を出さない

よだれなどの悪臭防止に対しては衣類の交換、部分清拭を。トイレ周り等の異臭には消臭器、消臭液を使用し臭いの元の改善に取り組めます。

6. 利用者の異常行動はお世話に問題がある

利用者の異常行動は、介助する側の対応に問題があると思われれます。特に、意思疎通の難しい利用者には寮母・相談員がコミュニケーションを多くとるよう努めます。

7. 最低基準を満たす食事

食事は温かいものは温かく、冷たいものは冷たくして差し上げることが基本です。食器は特殊食器（メラニン等）を用いず陶磁器を使用します。同時に食事時間を家庭に生活に近づけるため、夕食時間は夏期は午後6時から、冬期は午後5時30分から（自治会の要望）としています。

8. 心の介護

高齢化・重度化・重複化に伴って、心のケアについても組織的な取り組みを行います。心ない介護は利用者にとって苦痛でしかありません。ひとつひとつの介護に対し、優しい声かけ、手使い、心のこもったお世話を心がけています。利用者の心に寄り添って介護を行います。

2) 保健衛生

健康食品による内面的健康確保に加えて専門医療機関で、春秋2回の定期検診と、週2回の嘱託医による巡回検診を実施すると共に、必要な治療を受けます。尚、血圧計・酸素蘇生器・吸引器等の緊急器具の取り扱いは、緊急時に備え全職員が扱えるよう実技講習を実施、さらに徹底を図ってきました。また、0-157などの食中毒や感染症対策として、酸性水を導入し、食堂、居室の消毒と併せ、汚臭・悪臭の追放のため、居室での排便介助に使う携帯用の消臭器を使用。また、高齢化・重度化による病気の蔓延を防止するため、空気清浄器（病原菌、ウイルス等を除菌する）を各居室に設置し、ウイルス破壊加湿装置をデイルームと食堂に設置しました。また、昨年も流行した新型インフルエンザと新型コロナウイルスの対応には保健所や医療機関と密に連絡を取り合い、簡易検査キット・防疫グッズ等の購入、施設内の消毒を徹底し今後も引き続き、感染症対策として施設内のあらゆる場所に消毒液を設置し、職員は介護の前後に使用するようにしました。

また、口腔ケアに関しても、現場でのケアを充実させることで口腔内の細菌増殖を抑えこれが肺炎などの予防に繋がるよう努めました。

①健康診断 5月～胸部X線 検尿 検便 心電図 血液一般 肝機能

10月～胸部X線 検尿 検便 心電図 血液一般

②予防接種 インフルエンザ 肺炎球菌ワクチン（対象者）

風疹ワクチン（対象者）

③環境衛生 環境消毒専門業者（イカリテクノス）による全館の消毒によりゴキブリ、ネズミ等の害虫駆除に効果をあげています。

④感染症予防対策委員会 突発的な感染症に備えて対策を講じました。

加湿器使用（湿度50%以下の時には加湿器を使用）

ウイルス破壊加湿装置2台設置

3) リハビリ

リハ加算にかかる書類の流れや形がほぼ固まってきました。ポジショニングもある程度形作られ、寮母も基本を応用してより良いポジショニングを考えることができるようになって生きています。そのため時間の効率化が図れ、昨年と比べ個別リハに力を入れ取り組むことが出来たと思います。

褥瘡が発生した際に早期に寮母と連携してポジショニングの検討を行える様になってきたと感じます。

車椅子作成については採型等業者と入居者が接しなくて良い様工夫して作成をすることが出来ました。（直接触らなければならない工程については延期している）

4) 給食

食事を家庭的な食事に近づける為に、食事内容、提供時間、温・冷食の徹底に取り組んできました。全利用者との懇談会とユニットごとでの懇談会を隔月で行い、又、年4回個別に嗜好調査し、セレクトメニューやお好み献立や普通の食事に反映するよう努めてきました。新型コロナウイルスの為、外出自粛のストレス軽減を心がけ、食堂にて利用者の前で調理し、出来たての料理をいつもと違った雰囲気味わって頂けるよう、天

ぷら、お好み焼き、焼きそば、などを提供しました。極細・流動食の方には一品はソフト食の提供をおこないました。

5) 行 事

暦行事については事業所別ではあるが計画どおりに実施され、行事計画についても職員任せではなく利用者が実行委員として参加しました。食事でも利用者目の前で寮母がお好み焼き、焼きそばを料理する行事色の強い食事提供で楽しんで頂きました。

各種行事

単調になりがちな施設生活の中で、利用者の多くが挙げる楽しみの一つに、年間を通しての各種行事があります。令和3年度は下記のような催しを実施しました。

- 3年 4月 入社式 チューリップ見物（緒方町・原尻の滝周辺 13人参加）
お花見 鉄板ディ、ワックス掛け
- 5月 五月祭（任運荘と別） 母の日
- 6月 父の日 七輪ディ 餃子ディ 焼肉 そうめん流し
サンドウィッチ
茶話会 バスハイク
- 7月 七夕 バスハイク 鉄板ディ 素麺流し
- 8月 納涼会 盆行事（任運荘と別） パンデー 鉄板ディ
- 9月 敬老祝賀会 彼岸供養 茶話会 鉄板ディ
- 10月 運動会（任運荘と別） 茶話会 バスハイク 宿泊旅行2人
- 11月 バスハイク
- 12月 忘年会 クリスマス会 餅つき 茶話会 年越しそば
- 4年 1月 新年お楽しみ会 茶話会
- 2月 節分 バレンタインデー おやつディ
- 3月 ひな祭り ホワイトデー 自治会総会 彼岸供養 ピタパンデー
ドライブ お花見

6) 安全管理

毎月第一木曜日を「防災の日」とし、安全対策委員会を開催してきました。

7) 対外活動

コロナウィルス対策の為、対外活動はほぼ自粛でした。

8) 委員会活動

騰々舎は意思伝達のできる利用者と職員全員で、下記のような8つの委員会を設けています。施設生活をより住み良いものにしようというのが狙いで、この制度が生まれたのは1983年(昭和58年)ですから、今年で37年経過しました。各委員会は利用者、職員から上がってきた各種提案事項や購入物品、苦情を取りまとめ、解決策を討議し月1回開かれる利用者・職員対話会や支援費検討会などに報告、賛成を得られれば直ちに実施してきました。

◆行事委員会

利用者～堀トミ子さん・工藤里美さん・井手上裕美さん

職員～伊東史生・工藤睦美・藤澤弘子

【年間総括】

- ・コロナの合間を縫ってのバスハイク、初詣の実施は利用者にとって気分転換になりよかったです。
- ・鉄板ディなど行事食の回数を増やし利用者に楽しんで頂きました。
- ・委員間での連携がうまく出来なかった為行事の準備等などが不十分でした。

【引継ぎ事項】

- ・行事関連の物品の整理や収納。新規購入。

◆防災対策委員会

利用者2人

職員～平山晶大

【年間総括】

- ・新舎屋へ移動後、早めに避難訓練は出来たが、コロナウィルスの影響で消防署立会の防災訓練が思うようにできませんでした。
- ・停電時、発電機専用のガスボンベの用意ができていませんでした。

【引継ぎ事項】

- ・消防署立会の防災訓練の実施。
- ・職員への防災メールの確認。

◆褥瘡対策委員会

職員～恵藤麻衣・橋守美穂子・内藤千春

【年間総括】

一年を通し、新たな褥瘡及び褥瘡に繋がる傷や発赤の発生は少なく、褥瘡の悪化も見られませんでした。職員間での情報共有が出来ていたことの成果と考えます。

【引継ぎ事項】

- ・褥瘡の早期発見、早期完治。
- ・職種間を超え、全職員で早期発見に努めます。
- ・記録の徹底

◆広報・研修委員会

利用者～3人

職員～・工藤奈々・麻生みどり

【年間総括】

- ・毎月「騰々舎便り」は作成しましたが、発送やホームページ掲載が遅れました。
- ・通算400号を作成するにあたり機関紙の振り返りができ、今後の作成意欲に繋がりました。
- ・新舎屋では掲示板設置がされていない為、壁新聞（写真）を一枚も作成できませんでした。

【引継ぎ事項】

- ・掲示板の設置。壁新聞の作成。
- ・家族への写真発送の検討（面会制限の為）

◆事故対策委員会

利用者～2人

職員～阿南純一・永井貴之・児玉寛子・星野裕希子

【年間総括】

- ・月一回のヒヤリハットや事故の検討会議は出来たが委員全員が揃うことは出来ませんでした。
- ・職員の事故防止に対する意識付けが出来たか判断が困難でした。

【引継ぎ事項】

- ・ヒヤリハットの既読用チェックシートは続け職員への声かけを続けて欲しい。
- ・毎月の検討会の実施は継続して欲しい。

◆喀痰・吸引委員会

利用者～2人

職員～穴見和枝・村山和美

【年間総括】

- ・必要物品の補充・点検等は随時行えました。
- ・吸引に対して自信の無い職員の把握及び、有資格者に対するフォローアップ、施設内研修が出来ませんでした。

【引継ぎ事項】

- ・吸引に関する施設内研修の実施。フォローアップ。

◆拘束・虐待防止委員会

利用者～2人

職員～白石宏憲・佐藤保子・山村徹

【年間総括】

- ・利用者満足度調査を一度しか実施できませんでした。その為、利用者の声を日々の生活に反映させることが出来ませんでした。

【引継ぎ事項】

- ・満足度調査は内容や期日をしっかりと計画し、確実に年に二回実施するようにしよう。

◆感染症対策委員会

利用者～2人

職員～田上文子・首藤須賀子・金丸竜也・井野淳子

【年間総括】

- ・感染症対策ボックス（消毒液・ガウン等が入っている）の見直しができず設置が遅くなりました。
- ・感染症マニュアルの検証、見直しを定期的には実施できませんでした
- ・県内・市内での感染の拡大にもかかわらず職員・利用者に感染者が出なかったのは日頃の対策の結果だと思われます。

【引継ぎ事項】

- ・加湿空気清浄機の清掃は各ユニットで実施。
- ・衛生用品の在庫確認、補充は担当者の選任を希望します。
- ・害虫駆除は各ユニットに聞き取りすることを提案します。蚊取りマットは全居室に準備することを要望します。

◆拘束・虐待委員会

利用者～2人

職員～藤澤弘子・穴見和枝・佐藤保子・永井貴之

【年間総括】

- ・利用者満足度調査が前期、後期と2回行いました。また集計結果をグラフで表すことで状況の把握が容易となりました。
- ・全職員対象に、サービスマナー研修を毎月行い職員の質の向上に努めました。
- ・3ヶ月毎に拘束の見直しを行なっているが拘束廃止の実現は難しい状況です。

【引き継ぎ事項】

- ・満足度調査結果のグラフ化は好評だったので今後も実施を希望します。
- ・拘束廃止の取り組み。

クラブ状況

令和5年3月31日現在

グループ名	開始年	活動回数	参加数
カラオケ	昭和56年	随時	自由参加
スポーツレク	平成8年	随時	自由参加

10) 自主学習

「人は死ぬまで勉強。施設の中で生活している私たちも学習したい・・・」という利用者の希望で現在、2人の利用者が施設内で自主学習を続けています。手伝いをするのは相談員。自主学習は本人の希望による文字通り個人本位の学習です。重い障がいのため十分な義務教育を受けられなかった方々の五十の手習いです。学習内容は小学校低学年の国語、算数が中心で、学力に応じ、めいめい余暇を利用して勉強をしています。施設ではこれらのお世話を食事介助や入浴介助と同じように位置づけ、可能なかぎりの支援を続けています。

11. 短期入所、日中一時支援利用者の受け入れ

令和3年度の延べ利用日数は7日

令和4年度 // 0日

日中一時支援事業を竹田市・豊後大野市から委託を受け実施しています。

短期入所事業では利用の方、日中一時支援事業の利用の方はいませんでした。

2 《騰々舎職員状況》

令和5年3月31日

1) 現 員 48人

正規職員 27人 嘱託医 1人 契約職員 20人

令和4年度採用者 3人

正規職員 0人 契約職員 3人

令和4年度退職者 3人

正規職員 0人 契約職員 3人

2) 職員処遇

1. 保健衛生 職員の健康診断(40歳以上は成人病検診)を3月までに病院A・Bコース、

政府管掌健診を47人、11月にはインフルエンザ予防接種を47人が受けました。

2. 職員研修

【施設内研修】

福祉講座 随時

介護職員の定着・利用者への対応の仕方など 全体会議・個別面談

防災緊急時講習 新職員の防火 介護技術研修 褥瘡対策研修 虐待拘束研修

【施設外研修】

市町村防災力強化専門研修会	1名		
食品衛生講習	1名		
喀痰吸引等研修会	2名		
管内栄養士研修会	1名		
全国労働衛生週間説明会	1名		
九州身体障害児者施設研究大会	3名		
福祉サービス苦情解決セミナー	1名		
大障協コナ対応意見交換会	2名		
介護職場の雇用管理・ハラスメント防止対策・ -ダ-育成研修会	2名		
虐待の防止・身体拘束・権利擁護研修会	1名		
アンカ-マネジメント研修会	1名		
権利擁護/虐待防止とリスクマネジメント研修会	1名		
障がい者の虐待防止についての講演会	1名		

口腔ケア研修会	1名		
足漕ぎ車椅子講演会	1名		
3 《設備設置・備品・修繕概要》			
1. 設備設置			
	電話・LAN設備工事 (折半)	77,000	大電通
	厨房改修工事(折半)		
2. 備品			
	ノートパソコン1台(施設長 室)	299,80	Cスマートアミュー ザ
	厨房増改築工事備品 (折半)	2,418,39	松井組
	男性休憩室・更衣室エ コン2台	451,00	山村電設
	グリドル高足スタンド 1 台	166,85	厨房キング
	施設長室エアコン1台	109,40	ケースデンキ
	栄養室エアコン1台(折半)	91,66	山村電設
3. ソフトウェア			

